

2015年7月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

7 2015
July
No.264

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 秋田 裕 ○編集 | 渡邊 観世子

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[27.6.1現在]

4,542名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶新人教育プログラム P4▶活動報告/会長行動報告
P5▶会員ライフサポート部活動報告52報 P7▶学会情報 P9▶研修会・講習会
P13▶information P15▶スポーツ現場の独り言 P16▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



シームレスなリハビリを目指して

川崎幸病院 リハビリテーション科
金子 奈央

皆さんはどのような動機で今の職場を選びましたか？

私は以前訪問リハビリで働いていました。訪問リハビリは利用者の実際の生活の場でリハビリを行うため、目的や目標が明確で、良くも悪くもリハビリの効果を目の当たりにできる場所だと感じました。それと同時に、その人の性格や生き方などを病院よりも身近に感じることができるため、尚更、私たちが提供するリハビリはその人の人生を左右してしまうくらい重要な仕事であると感じました。

私はそのような環境でリハビリを行うことに日々やりがいを感じていましたが、残念なことに誤嚥性肺炎や心不全増悪などで状態が悪化して、入院や場合によっては死に至ってしまう方も少なくありませんでした。もし、訪問した時にしっかりと評価し対策することができたら、入院や死は減らすことができたかもしれません。しかし、その当時は自分自身の経験や知識不足で、その解決策を見つけることができず無念さを感じていました。より安心して在宅で永く生活してもらうためには、自分自身が病態理解やリスク管理について深く学ぶことが重要だと考え、意を決して現在の職場に転職しました。

現在の職場では、急性期病院でのリハビリの役割は、医師や看護師など様々な職種の方と協力して、まずは生命を全力で救うことだと学びました。急性期治療と同時にADL向上も目標となりますが、在院日数やマンパワーの問題から、十分なリハビリを提供することは難しい場合もあります。

当院では、「早朝リハ」といって朝食時間に合わせ、整容動作やトイレ動作、更衣動作や食事動作など在宅生活に必要な身の回りの動作を積極的に練習しています。また、退院後の生活が安心して送られるよう、退院前訪問や、入院中に担当したスタッフが継続して訪問リハビリに行くなどしています。さらに診療科別に「病棟専従」のリハビリスタッフを配置することで、より専門的な理学療法を提

供でき、また、急性期病院でありながら、生活を想定したリハビリを作業療法士や言語聴覚士と一緒に行うことで、より視野の広がった理学療法を提供できるように思います。例えば、心不全を繰り返す患者に対して、退院後自宅に訪問することで、実際の労作や食事、水分量や内服管理などを確認し、それぞれの職種と協同して再入院にならないように支援することができます。しかし、全ての患者に同じように退院後までの生活をフォローすることは急性期病院では物理的に不可能です。急性期病院から直接自宅退院できない場合には、その後のリハビリを適切に行うために、回復期病院や地域包括ケア病棟、老人保健施設などの後方支援病院のそれぞれの特性や役割を十分理解した上で協力を依頼する必要があります。また、直接在宅に戻る場合にも、様々な介護サービスを理解した上で調整する必要があります。より早く安心して在宅へ復帰できるように支援するためには、十分な情報共有や連携によるシームレスなリハビリが必要不可欠です。

近年注目されている地域包括ケアシステムの構築においても、急性期病院には生活期のケアは関係がないのではなく、むしろ急性期からの取り組みが重要で、さらに地域包括ケア病棟、慢性期の療養病棟も含めて、在宅へ復帰できる治療やケアを行うことが必要とされています。今後は、急性期から訪問などの生活期まで、全体として多職種による連携・協働によって行われる一体的なマネジメントがますます重要になると予想されます。

急性期で働く皆さん、退院前に一度患者さんを連れて家に行ってみませんか？訪問リハビリで働く皆さん、利用者さんが入院した時、急性期でどんな治療やリハビリをしているか見に行ってみませんか？シームレスなリハビリは、まずはお互いの場所に足を運ぶことから始まるように思います。

新人教育プログラム

平成27年度 第2回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度、平成27年度の第2回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

- 開催日**：平成27年9月27日（日）
受付開始時間 9：30～（予定）
- 開催地**：湘南台文化センター 市民シアター
所在地
〒252-0804 神奈川県藤沢市湘南台1-8
- 交通**：小田急江ノ島線・相鉄いずみ野線・横浜市営地下鉄線（ブルーライン）
湘南台駅G出口から徒歩5分
- 受講費**：本会会員 1,000円
（受講単位数に関わらず一律1,000円）
他士会会員 4,000円
（受講単位数に関わらず一律4,000円）
- 内容**：新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	単位
10：00-11：00	C-3. 特別講義（内部障害の理学療法）	1
11：05-12：05	B-1. 一次救命処置と基本処置	1
昼食		
12：55-13：55	E-1. 臨床実習指導方法論	1
14：00-15：00	B-3. 統計方法論（高度専門士免除）	1
15：05-16：05	B-4. 症例報告・発表の仕方 （高度専門士免除）	1

- 申込方法**：事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。
各テーマは独立した研修会です。それぞれ受講登録が必要になります。すべてのテーマを受講される方は、各々の登録が必要になります。
受講登録が済みますと自動返信メールがお手元に届きますので返信内容をお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。
自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報くださいますようお願いいたします。
新人教育プログラム研修会では、受付の際に登録の完了が確認できない場合、受講をお断りしております。

7. 申請テーマのキャンセル：

事前登録で申請したテーマ以外への変更および当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。

研修会当日にやむを得ずキャンセルをされる場合は、県士会PHS（070-5020-9036）までご一報をお願いいたします。

8. 講義資料：日本理学療法士協会「マイページ」よりダウンロードしご持参下さい。会場での準備はございません。

9. 定員：500名（先着順）

10. 申し込み期間：

申込開始日：平成27年8月17日（月）

申込締切日：平成27年9月14日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。日程に余裕をもった登録をお願いいたします。

注) カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。

なお、新人の方で会員証がお手元に届いていない方は早急に入会手続きを済ませてください。（発行手続きは協会へ申請後7～10日で完了します。）

注) 会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。

注) 研修終了時に改めて終了受付があります。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので注意してください。

注) 昼食は各自でご用意ください。（ホール内での飲食は厳禁となっています）

問合せ先：横須賀共済病院 リハビリテーション科

e-mail：reha-ykh@ykh.gr.jp

新人教育部 部長：木村 充広

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 事務局

e-mail：office@pt-kanagawa.or.jp



「e-ラーニング 新人教育プログラム」に関するご案内

生涯学習課

今回、昨年度より協会主導で実施しております「e-ラーニング 新人教育プログラム」についてお知らせいたします。e-ラーニングによる新人教育プログラムは、アクセスが難しい地域に在住している会員、勤務形態や育児などで研修会の受講が困難な会員への研修受講機会の格差是正を目的としています。昨年度は対象を4年目以降としておりましたが、今年度より下記のように1年目からの受講が可能となりました。

コンテンツ名	内容	受講費	申し込み期間	受講期間
新人教育プログラム ※入会1～3年目	B-1～4 D-1～4 E-1～3 合計 11テーマ	¥5,400	2015年 9月 (予定) ～ 2016年1月31日 (日)	申込～2016年2月28日 (日)
新人教育プログラム ※入会4年目以降	A-1～5 B-1～4 D-1～4 E-1～3 合計 16テーマ	¥8,640	2015年 5月 (予定) ～ 2016年1月31日 (日)	申込～2016年2月28日 (日)

※受講期間は、お申し込みいただいてから、2月まで視聴可能です。

※受講+確認テスト(5問)に回答いただき、60点以上で修了となります。

ご不明な点がございましたら協会生涯学習課まで問い合わせください。

e-mail : shougai@japanpt.or.jp



青いダック

生きるためのがん保険 Days

ちゃんと考える人に。新登場。

ちゃんと応える医療保険 NEVER



アフラックダック

お問合せ先

募集代理店 **国際保険株式会社**

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-15-5 DSビル4F

0120-5931-98

引受保険会社 **Aflac**

首都圏総合支社
東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストエスト17F TEL.03-3344-1580

アフラックは
がん保険・医療保険
契約件数 **No.1**

平成25年度「インシュアランス生命保険統計」

活動報告

平成27年度新人オリエンテーションを終えて

総務部長 木下 尚久 (新百合ヶ丘介護老人保健施設つくしの里)

去る4月19日(日)午後1時～5時まで、横浜市民文化会館関内ホールにて、平成27年度新人オリエンテーションが開催され、368名の新人理学療法士の参加を頂きました。

普段は、音楽会等のイベントで賑わう事の多い会場ですが、当日に限っては、日本の医療・保健・福祉の未来を担うであろう、若い理学療法士達の熱気で溢れかえっていました。

秋田 裕会長の挨拶と本会役員紹介に始まり、本会の活動状況を伝える6テーマの講演が続きました。かなりの長丁場になりましたが、講師(全て本会役員です)の先生方の熱のこもったお話は、新人ならずとも非常に興味深く拝聴する事が出来ました。新人の皆さん方の心の奥底に響いたものと思います。中でも、学術局新人教育部部長の木村充広先生による『生涯学習新人教育プログラムについて』は、6月から始まる新人教育プログラム研修を皮切りに認定理学療法士から専門理学療法士へ続く長い道のりを、皆さん、真剣な眼差しで聴き入っていたのが印象的でした。新人会員の皆さんにとっては、日々の忙しい臨床業務に身を費や

すことが多いとは思いますが、研究活動や県士会活動にも積極的に参加をして頂きたいと思います。

末筆ではありますが、貴重な週末にも関わらず、新人オリエンテーションの運営に多大なご協力いただいた県士会事務所の皆さんを始め役員各位に感謝申し上げます。



本会の役員紹介

月	日	内容	場所
4月	3日(金)	日本身体障害者補助犬学会プログラム委員会	日本介助犬協会本部
	4日(土)	湘南医療大学入学式	湘南医療大学
	7日(火)	常任理事会	本会事務所
	11日(土)	動物理学療法研究会会長信岡尚子氏と懇談	新横浜
	12日(日)	三団体全国士会長合同会議	TKP 田町カンファレンスセンター
	13日(月)	地域包括ケアシステム推進委員会	本会事務所
	17日(金)	第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会準備委員会	鎌倉リハビリテーション 聖テレジア病院
	19日(日)	新人オリエンテーション	関内ホール
	21日(火)	事業運営会議	本会事務所
	21日(火)	常任理事会	本会事務所
5月	15日(金)	神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会・PTOTST 三士会長合同会議	本会事務所
	17日(日)	監査会	本会事務所
	19日(火)	第1回理事会	本会事務所
	20日(水)	湘南地域リハ連絡会	湘南藤沢徳洲会病院
	27日(水)	日本身体障害者補助犬学会学術大会準備委員会	日本介助犬協会本部
	2日(火)	常任理事会	本会事務所
6月	5日(金)	第50回日本理学療法学術大会ポスター演題発表 日本支援工理学療法学会運営幹事会	東京国際フォーラム TKP 東京駅八重洲 カンファレンスセンター
	6日(土)	第50回日本理学療法学術大会ポスター演題座長 協会設立50周年記念式典・祝賀会	東京国際フォーラム ホテルオークラ
	7日(日)	第50回日本理学療法学術大会シンポジウム7座長	東京国際フォーラム
	8日(月)	日本身体障害者補助犬学会学術大会打ち合わせ	国土交通省
	9日(火)	事業運営会議	本会事務所
	13日(土)	協会第44回定時総会	ベルサール半蔵門
	14日(日)	第36回定時総会	横浜リハビリテーション 専門学校





復職支援実務研修報告

石川 麻奈美さん

会員ライフサポート部
活動報告 第52報
職場環境を考える

復職支援実務研修を開始して5年目となりました。少しずつですが、研修の参加者も積み重なってきました。

これまで4名の方が参加されました。それぞれで離職した事情があり、復職への不安内容も様々です。ライフサポート部では、個別に研修内容、研修先を相談しながら参加できるようにしています。今回は、回復期から生活期まで様々な施設で理学療法士が活躍している、鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院とその関連施設での研修がかないました。参加された方からの感想をいただきましたので、皆様にご紹介します。

働きたいけど「専門職として戻るの自信がない・・・」「仕事との両立が本当にできるのか体力的に心配・・・」「以前とは違った分野で働いてみたい。でも実際はどんな感じなのかな？」など、不安に思うところは様々ですが、悩んだら実務研修の相談をしてみてください。「現場研修・復帰はまだ難しい」という方は託児室付の研修会なども企画していますので、子供連れで外に出て来て他の理学療法士の集まるところに顔を出してみましよう。ちょっと顔を出しておくだけでも情報がいろいろ入ってきます。とにかく、1歩踏み出してみましよう。

研修協力施設も同時に募集しております。一緒にお手伝いしていただける施設を少しずつでも増やし、いろんなニーズに対応できるようにしていければと思っています。

■研修スケジュール

(研修施設：鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院)

	火	木	金
9:00-9:50	通所リハセンター 見学		訪問リハ同行
10:00-11:50			
12:00-13:00	昼食	昼食	昼食
13:00-14:00	移動	病棟見学・体験	外来リハ見学
14:00-16:00	デイサービス台 見学		

■復職支援実務研修に参加して

神奈川の一般病院で5年勤務し、夫の転勤により山梨へ。その後パートにて2年程訪問リハビリテーション事業所で働かせて頂きました。その間、2人の子供に恵ま

れ子育てを経験しました。再び夫が転勤となり、神奈川へ戻って来ました。

途中、幼稚園や学校の役員をしたりとすぐには働くことができず、トータルのブランクとしては8年もの長い期間となってしまいました。

下の子が小学生になったので、そろそろ復帰を考え、まずは働くきっかけになればと思い、復職支援研修に応募しました。

研修先はなるべく自宅に近い所、生活期の施設を希望し、会員ライフサポート部の方に探して頂き、実現することができました。

研修先は回復期、通所リハビリテーションセンター、デイサービス、訪問リハビリテーション、外来リハビリテーションと幅広く展開されている施設だったので、3日間のスケジュールで一通り見学させて頂くことができました。また、見学中にはそれぞれの部署の担当PTの方に丁寧に説明して頂き、仕事への理解を深めることができました。

限られた時間では、患者さんや利用者さんへ深く関わることは難しいですが、時々患者さんや利用者さんとのコミュニケーションを取る中で、素晴らしい仕事であることを再確認できました。デイサービスでは利用者さんが担当PTに、「あなたがいるから頑張れる」と言っていたのが印象的でした。

制度や理学療法技術は日々進化し、その一端に触れることができたのは良かったと思います。まだまだ勉強不足の為、多くの情報を理解するまでには至っていませんが今後働く中で少しずつ理解を深めていきたいと思えます。

今回、復職支援研修の施設を探して支援頂いた会員ライフサポート部の皆様、このような研修を初めて受け入れて頂き、お忙しい中スケジュール調整して頂いた施設の先生方に改めて感謝したいと思います。



活動報告



「復職支援実務研修」研修生募集中 (詳しくはホームページをご覧ください)

離職中の会員を対象に、復職への不安の解消のため実際の臨床現場での研修を行っています。

【問合せ・申込み先】 lifesupport@pt-kanagawa.or.jp ライフサポート部へメールでお願いします。

【研修期間】 平成28年3月31日までの1～5日間 【研修施設】 ご希望の地域、職域（回復期など）

【研修対象者】 離職中の理学療法士 【参加費】 1日1,000円

※日程や研修施設、研修内容については、個々の希望に応じて調整します。お気軽にお問い合わせください。



産休・育休取得時の人材確保についてのアンケート調査を実施しています。 ご協力をお願いいたします。

これまでの調査活動の中で、産前産後休業、育児休業（いわゆる産休、育休）の取得に伴う人材確保に苦慮しているとの意見がたくさん挙がっています。具体的な対策として県士会レベルでの人材バンク創設の要望もありますが、士会として検討していくには問題が多く容易ではありません。人材確保の問題は、現場スタッフの負担とともに、理学療法をうける利用者の方へのサービスの低下にもつながります。仕事を続けていきたいママさんPTにも精神的な負担を強いることになり、誰もが仕事しやすい環境を考える上では深刻な問題です。そこで、まずは産休・育休取得時のスタッフの人材確保について、皆様の施設ではどのようにされているのか情報を集めることから始めることにしました。お忙しいとは存じますが卒で協力の程よろしくをお願いいたします。

子どもと一緒に受講できるサテライト室併設の講習会を検討しています。

託児室の設置は予算の関係上無限大に設置は難しいのが現状です。

そこで、子どもを連れてきても講習が受けられる部屋を会場の国際医療福祉大学（小田原）のご協力のもと設置することを試してみたいと思います。

他の研修会、学会などでも試されており、「よかったよ」との声も聴いています。

具体的には、ホームページのライフサポート部「託児室付研修会」の案内に掲載します。

★設置講習会★

生涯学習部企画神経理学療法講習会「脳画像の読影と理学療法への応用」

講師：大村優慈先生（国際医療福祉大学）

場所：国際医療福祉大学（小田原）

日時：平成27年12月13日 13時～16時





第33回 神奈川県理学療法士学会のプログラムと準備の進捗状況 ——今年度は湘南西部ブロックの担当となります

学会テーマ

「症例報告～一人の患者さん・利用者さんに対してじっくり考えよう」

テーマには、シンプルで力強い“想い”が込められています。

理学療法の原点は、目の前の「一人の患者さん・利用者さん」にあると思います。最近注目されている地域包括ケア、地域連携という点を考えてみても、顔がみえる関係を作ることだけではなく、私たちは理学療法士としての役割を理解し、高い専門性を発揮しなければなりません。逆に、それぞれが専門性を発揮することなくして、適切な連携はありえないということでもあるかと思えます。

今年度の学会は、「症例報告」というそれこそ理学療法のだ真ん中、原点となる部分をテーマといたしました。本学会を通して、神奈川県4,244名（平成27年4月1日現在）の会員みなで、一人の患者さん・利用者さんのことをじっくり考えてみませんか？

【開催日時】平成28年3月13日（日） 9：00～18：00

【開催場所】パシフィコ横浜 3階

プログラムは、テーマに合わせて主に次の10企画を予定しています。

口述発表	ポスター発表
教育講演	県民公開講座
ハンズオンセミナー	シンポジウム
地域症例リレー	県士会活動報告
健康チェック	研究支援部共催企画

口述発表、ポスター発表は、どんな分野の演題でも受け付けます。

全国学会（日本理学療法学会）や関東甲信越ブロック学会と比べて、本学会には特に「若手の登竜門」としての役割があると考えています。今年度は学会テーマを「症例報告」といたしましたので、発表が未経験であっても、ぜひ日々の取り組みを整理し、疑問の解消、課題の共有、深い知識の習得のため、この場を活用してください。もちろん、学会テーマに直結しない発表内容であっても問題なくエントリーできますので、ご安心ください。なお、口述発表、ポスター発表では新たな賞の追加も予定しています。

【演題募集期間】平成27年8月1日～9月30日

【学会HP開設】平成27年7月（予定）

各企画の講師陣は「オール神奈川」を予定しています。

教育講演、県民公開講座、ハンズオンセミナーなどの講師陣には、「オール神奈川」を合言葉に県内の超一流の理学療法士の方々を選出させていただく予定です。また、上記以外にも現在、特別講演を企画中です。口述発表、ポスター発表と併せて、リアルで有益な情報・意見を交換できる場になるものと考えていますので、こちらもぜひご参加ください。

託児所は今年度も設置される予定であります。

託児所は初めての方でも安心してご利用いただける環境となっています。小さいお子様のいらっしゃる方も、無理のない範囲でも良いと思いますので、「自分は…」とあきらめてしまうことなくご参加いただくと幸いです。（体験談：パシフィコ横浜は電車・車でのアクセスが良好です。託児所も安全な環境で、会場からも近くて便利でした。）



学会情報



今年度は湘南西部ブロック（平塚市、秦野市、伊勢原市、大磯町、二宮町）が担当です。

昨年12月より以下の7名で準備委員会を構成し、会議を繰り返しています。

- 松本 肇（学会長／財務係）
- 北村 記一（副学会長／準備委員長）
- 池田 裕（準備委員長）
- 福島 努（IT係）
- 山口幸三郎（運営係）
- 下田 栄次（学術係）
- 安藤 岳彦（総務係）

普段の取り組みをアウトプットすることに主眼を置きたい。一般県民・他職種の方々が参加される学会にしたい。会員が県士会の取り組みを理解できる場としたい。そんな

な想いで一つ一つ準備を進めています。来年3月の学会には、ぜひ多くの方々にご参加いただきたいと思います。



第2回 日本小児理学療法学会学術集会 in 神奈川

日時：平成27年10月18日（日） 9時30分開始／16時30分終了

会場：はまぎんホール ヴィアマーレ（桜木町）

横浜市西区みなとみらい3-1-1

テーマ：～小児救急医療から生活へつなぐ理学療法～

プログラム ①学術集会長基調講演

横山美佐子 北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科理学療法専攻

②特別講演／ディスカッション「小児呼吸理学療法（仮題）」

上田康久医師 うえだこどもクリニック院長 小児呼吸器専門医

③一般演題（口述発表・ポスター発表）

④シンポジウム

※演題募集等の日程は決まり次第、日本小児理学療法学会ホームページなどでお知らせ致します。

<http://jspt.japanpt.or.jp/jspt/>

TVで紹介の“足こぎ車いす”

ショールーム 横浜そごう 9階（横浜駅徒歩2分）

■お問い合わせ 0120-12-6186（営業時間 10：00～20：00）

 神奈川ロイヤル株式会社

〒220-0011 横浜市西区高島 2-18-1
TEL：045-440-3911 FAX：045-440-3912

研修会・講習会



●県士会主催

臨床実習教育部研修会のご案内

テーマ：臨床実習のすすめかた

内容：近年、「クリニカルクラークシップ」は、臨床実習教育方法の一つとして広く知られるようになってきました。クリニカルクラークシップは、「診療参加させながら学生の成長を促す」という考え方です。その教育方法の有効性は示されていますが、具体的な実践方法がわからない、という先生方も多いと思われます。

そこで、本研修会では鶴澤吉宏先生をお招きし、亀田総合病院で展開されているクリニカルクラークシップを用いた教育システムについてご紹介いただきます。さらに、具体的な学生指導方法として、急性期の症例において実習を進める際の指導方法についてもお話しいただく予定です。

今回の研修会はワークショップ形式をとり、教育現場・臨床現場の両方の立場から多くの意見を交換できる場としたいと思います。多数のご参加をお待ちしております。

日時：平成27年9月6日(日) 13:00～16:00
(受付開始12:30～)

会場：横浜市戸塚区品濃町550-1 横浜リハビリテーション専門学校
(JR東戸塚駅 東口より徒歩5分)

講師：鶴澤 吉宏先生(亀田総合病院)

受講料：会員2,000円、他都道府県士会員5,000円
*受講費は、当日現金で徴収いたします。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前web登録をお願い致します。
神奈川県理学療法士会ウェブサイト[講習会・研修会・イベント情報]をご参照ください。

申込受付期間：平成27年7月15日(水)～平成27年8月21日(金)

定員：80名

単位認定：1) 新人教育プログラム

・該当講座：理学療法における人材育成「E-1 臨床実習指導方法論」

・単位：1単位

2) 認定・専門理学療法士制度 専門分野登録者

・対象専門分野：教育・管理理学療法専門分野

a 認定理学療法士(臨床教育)

b 認定理学療法士(管理・運営)

c 認定理学療法士(学校教育)

d 専門理学療法士

・ポイント：10ポイント

お問合せ先：E-mail: rinsho-jisshu@pt-kanagawa.or.jp

臨床実習教育部長 坂本美喜(北里大学医療衛生学部)

平成27年度 内部障害領域講習会のお知らせ

神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：急性期の呼吸理学療法について

内容：日常の臨床において、「動けない患者」に対して、理学療法士が持ち得る知識技術を駆使して「安全に動ける」ように導くことが急性期理学療法の基本的な考え方である。またその手段の一つが呼吸理学療法であると考えられる。胸腹部手術後や呼吸器疾患急性増悪時では、単純に安静にしているから筋萎縮が進むのではなく、手術侵襲、呼吸循環動態、薬物、栄養状態が関与していることがほとんどである。単純に離床を進めるだけでは解決されない問題も存在し、症例に応じた呼吸理学療法の介入手段の確立が必要であると考えられる。本講習会では、急性期介入の方法論を中心に急性期呼吸理学療法の実践的役割について論じたい。

日時：平成27年9月5日(土) 13:00～16:00

会場：横浜市戸塚区品濃町550-1 横浜リハビリテーション専門学校
(JR東戸塚駅 東口より徒歩5分)

講師：長谷川 聡先生(京都大学)

受講料：会員2,000円、他都道府県士会員5,000円
*当日現金でお支払いください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願い致します。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください

申込受付期間：平成27年7月15日(水)～平成27年8月28日(金)

定員：180名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

対象：神奈川県士会員、協会員のみとなります。非会員は受講できませんのでご注意ください。

単位認定：【新人教育プログラム履修者】

理学療法の臨床 C-3 内部障害の理学療法 1単位

【認定・専門理学療法士制度 専門分野登録者】(旧専門領域研究部会)

「2. 講習会・研修会等の受講 5) 都道府県士会主催の講習会・研修会」: 10ポイント

対象専門分野：4. 内部障害理学療法専門分野「b 認定理学療法士(呼吸)」、「d 専門理学療法士」

お問合せ先：横須賀市立うわまち病院 リハビリテーション科 小方優帆
(Mail: misakiguchi23@yahoo.co.jp)

お問合わせはメールでお願いします。

研修会・講習会

平成27年度 リーダー研修会のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ: 理学療法士に求めるマネジメント能力

— 将来の変革に適応するマネジメント能力の再確認 —

内容: 地域包括ケアシステムの構築に向け、医療・介護保険の変革が始まっています。これに敏速に反応している管理者、未だ「地域包括は介護保険領域で医療機関には関係ない」と考えている管理者、その下で働く部下の将来は明暗を分けるかもしれません。

地域包括ケアシステムは医療、介護、福祉も巻き込んだ再編で効率的で効果的で質は高く、無駄は排除することを目指しています。PTにも効率的、効果的な理学療法法の提供が要望されています。その中核はマネジメント能力で、患者へのPDCAを基盤においた治療マネジメント、その治療内容を他の職種や他のサービスと共有し質が高く、無駄のない自立支援を誘導するマネジメント能力が要求されます。

品質不良、無駄なサービスは、報酬の削減やその領域からの排除にもなります。管理者として、PTの質の管理は業界のためにも重要な役割になっております。今回はこれらを再確認する内容で講演をいたします。

日時: 平成27年10月25日(日) 12:00~16:00
(受付開始11:30~)

会場: 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院
(江ノ島電鉄線「鎌倉高校前」駅より徒歩5分)

講師: 森本 榮先生 (医療法人社団 輝生会本部)

受講料: 無料

申込方法: 日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 Web 登録をお願いします。

会員外の方は、神奈川県理学療法士会ホームページ上から登録可能です。

神奈川県理学療法士会ホームページの [講習会・研修会情報] をご参照ください。

申込受付期間: 平成27年8月25日(火) 14:00

~平成27年10月16日(金) 17:00

定員: 50名 (先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

対象: 神奈川県内の理学療法士のみ

他都道府県の理学療法士は受講できません。

単位認定: 【新人教育プログラム履修者】

理学療法法の臨床 C-5 地域リハビリテーション (生活環境支援含む) 1単位

【認定・専門理学療法士制度 専門分野登録者】(旧専門領域研究部会)

「2. 講習会・研修会の受講 5) 都道府県士会主催の講習会・研修会」: 10ポイント

対象専門分野: 5. 生活環境支援理学療法専門分野「a 認定理学療法士(地域理学療法)」、「e 専門理学療法士」
7. 教育・管理理学療法専門分野「b 認定理学療法士(管理・運営)」、「d 専門理学療法士」

お問合せ先: (公社) 神奈川県理学療法士会生涯学習部 大村優慈
国際医療福祉大学小田原保健医療学部理学療法学科
(Mail: ohmura.yuji@iuhw.ac.jp)

お問い合わせはメールでお願いします。





平成27年度 発達障害領域講習会のお知らせ

(公社) 神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ: 脳性まひ児の理学療法

内容: 小児の理学療法は新生児集中治療室 (NICU) から介入する機会が増えています。脳性まひ児の現在の周産期要因について示すとともに、脳性まひ児の新生児期からの発達経過を追いながら、理学療法介入の意味を考えていきたいと思えます。また、脳性まひ者の自律のために、理学療法介入では何を指すのか、20年間介入してきた事例を交えながら報告します。

日時: 平成27年11月21日(土) 13:00~16:00
(受付開始12:30~)

会場: 国際医療福祉大学小田原保健医療学部 大講義室
神奈川県小田原市城山1-2-25
(JR東海道線・小田急線・「小田原」駅(西口)より徒歩3分)

講師: 木原 秀樹先生 (地方独立行政法人長野県立病院機構長野県立こども病院リハビリテーション技術科)

受講料: 会員 2,000 円、他都道府県士会員 5,000 円
受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認できましたら、受講登録が完了します。入金が確認出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法: 日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 Web 登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの [講習会・研究会情報] をご参照ください。

申込受付期間: 平成27年9月21日(月) 14:00
~平成27年11月1日(日) 17:00

定員: 150名 (先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

対象: 神奈川県理学療法士会会員、協会会員のみとなります。非会員は受講できませんのでご注意ください。

単位認定: 【新人教育プログラム履修者】

理学療法の臨床 C-1 神経系疾患の理学療法: 1 単位
【認定・専門理学療法士制度 専門分野登録者】(旧専門領域研究部会)

「2. 講習会・研究会の受講 5) 都道府県士会主催の講習会・研究会」: 10 ポイント

対象専門分野: 2. 神経理学療法専門分野 「b 認定理学療法士 (発達障害)」、「d 専門理学療法士」

お問合せ先: 学校法人岩崎学園横浜リハビリテーション専門学校
教務部理学療法学科 椎野直樹
(Mail: nshiino@iwasaki.ac.jp)
お問合わせはメールをお願いします。

あなたのニーズを

‘かたち’ にします

義肢・装具・車いす・座位保持装置 etc



<http://www.kimura-gishi.co.jp/>

 (有)木村義肢工作研究所

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間3丁目40番5号
TEL 045-892-5424 FAX 045-894-2560

研修会・講習会



平成27年度 神経理学療法講習会のお知らせ (公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：脳画像の読影と理学療法への応用

内容：脳血管障害患者は「左片麻痺＋半側空間無視」あるいは「右片麻痺＋失語症」といった典型的な症状を呈する者ばかりではない。例えば下肢と肩の麻痺は重度であるのに手指には麻痺が無い患者、視床出血で感覚障害は軽度であるのに失調を呈している患者、一見すると認知症に見えるのに特定の認知機能は保たれている患者、セラピストの指示通りに運動できる時とできない時がある患者、階段をフリーハンドで昇れるのに降る時は恐怖心が生じる患者に出会うことがある。このような患者と関わる上で、セラピストは脳画像から患者の病巣を把握し、そこから患者の症状がどのようにして成立しているのかを理解しておかなければ、症状の解釈を誤ったり残存機能を見逃したりするリスクが非常に高くなる。本研修会では、翌日から脳画像を臨床に役立てられるよう、脳の解剖学的特徴に基づいた画像上の脳領域同定方法、画像からの症状推測、理学療法への展開について解説する。

日時：平成27年12月13日(日) 13:00～16:00(受付開始12:30～)

会場：国際医療福祉大学小田原保健医療学部 大講義室
神奈川県小田原市城山 1-2-25
(JR東海道線・小田急線「小田原」駅(西口)より徒歩3分)

講師：大村 優慈先生
(国際医療福祉大学 小田原保健医療学部 理学療法学科)

受講料：会員 2,000 円、他都道府県士会会員 5,000 円 受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。講習

会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認できましたら、受講登録が完了します。入金確認出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前 Web 登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：平成 27 年 10 月 13 日 (火) 14:00

～平成 27 年 11 月 23 日 (月) 17:00

定員：180 名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります)

対象：神奈川県理学療法士会会員、協会会員のみとなります。非会員は受講できませんのでご注意ください。

単位認定：【新人教育プログラム履修者】

理学療法の臨床 C-1 神経系障害の理学療法：1 単位

【認定・専門理学療法士制度 専門分野登録者】(旧専門領域研究部会)

「2.講習会・研修会の受講 5) 都道府県士会主催の講習会・研修会」：10ポイント

対象専門分野：2.神経理学療法専門分野「a 認定理学療法士(脳卒中)」、「e 専門理学療法士」

お問い合わせ先：昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

リハビリテーションセンター 小和板 仁

(Mail: jintonicmax@yahoo.co.jp)

お問い合わせはメールをお願いします。



information



転倒予防セミナー運営委員ご協力をお願い

公益事業推進部では転倒予防セミナー（2016年1月開催予定）の運営委員を募集しております。転倒予防に興味がある方、介護予防推進リーダー導入研修を受講した方で実践経験をご希望の方を歓迎いたします。1回目の打ち合わせは9月上

旬を予定しています。詳細は本会ホームページに掲載します。お問い合わせはkoueki@pt-kanagawa.or.jp 公益事業推進部 相馬までお願いいたします。

理学療法フェスタ開催中

皆さんの施設に理学療法フェスタのポスター・チラシが届いていることと思います。一般向けの事業ですので興味のある方へのお知らせをお願いします。申し込みはホームページから行えます。今年は、協会主導で7月12日に全国一斉介護予防推進キャンペーンが開催され、本会では横浜のウィリング横浜で公開講座・介護予防キャラバンを実施します。その

他、スポーツ傷害、COPD、発達と栄養についての一般向けの講座を用意しました。詳細はポスター、チラシ、ホームページをご覧ください。お問い合わせ・ご意見は15pt-festa@pt-kanagawa.or.jp 相馬までお願いします。

担当：公益事業推進部

ハラスメント相談窓口のお知らせ

あなたが職場の人間関係で困っていること
それは、

ハラスメント

かもしれません

パワーハラスメント・セクシュアルハラスメント・マタニティハラスメント…etc.

本会には、ハラスメントの相談窓口があります
会員限定です。会員番号を明記のうえ下記アドレスまで相談
をお寄せください

アドレス：harasumento@pt-kanagawa.or.jp



Daiwa House
大和ハウスグループ

www.daiwahouse.co.jp/robot/

0120-934-576

ロボットスーツ HAL[®]福祉用は、
全国で約 250 台が稼動中。

デモンストレーション好評受付中！

ご興味のある施設様は、「この冊子を見た」と下記まで、お問い合わせください。

大和ハウス工業株式会社 東京都千代田区稲田橋3丁目13番1号
ヒューマン・ケア事業推進室 ロボット事業推進室





日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様にお願いします。

紛失・破損等による再発行は、有料（500円税別）となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

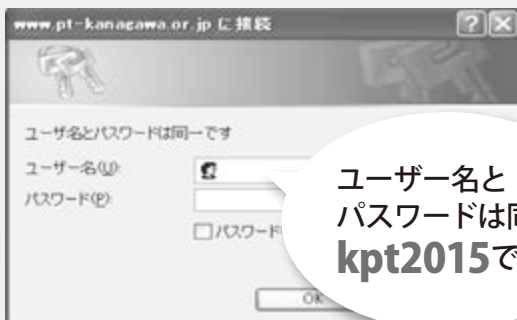
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

（公社）神奈川県理学療法士会
事務局長 佐藤 史子

アクセス認証のパスワードが変更になります！



2015年7月15日からパスワードが変更します

（8月15日までは旧パスワード kpt2014 でも閲覧可能）

本会ホームページの会員ページの（※アクセス）認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

スポーツ現場 の 独り言 (5)

アマチュアとプロフェッショナルその3 バスケットボール問題

プロアマ問題について書いてきましたが、今回はその最終回、最近話題のバスケ制裁問題について触れたいと思います。

冬のスポーツといえば冬季競技ですが、バスケットボールも屋内競技として秋から冬にかけての人気スポーツです。平成25年度の国内加盟チーム数は34,284チーム、競技者登録数は619,823名（JBA調べ）であり、高体連に加盟している数では男子4,477校、女子3,992校（平成26年8月高体連）となり、最も部活動の多い種目となっています。しかし、日本バスケットボール協会（JBA）は国際バスケットボール連盟（FIBA）から制裁を受け、全てのカテゴリーでの国際試合を禁止されました。

問題は、まず国内に男子のトップリーグが2つあること。オリンピック競技では国内のトップリーグとその協会は1つと決められていますが、日本では事実上NBLとbjリーグの分裂状態が続いていて、これが問題視されてきました。

では一体なぜ2リーグに分裂したのでしょうか。もともと日本リーグに加盟していた実業団のチームは、福利厚生としてスポーツを行っているので、本業でない興行収入は認められていません。ですから、いくら試合数を増やしても、お客さんが沢山見に来てくなくても、収入は変わらないということになります。一方、プロ化を目指すチームは興行収入が必要になりますから、なるべくお客さんを増やし試合を増やし、収入を増やしたいと考えていました。このようなチーム同士が同じリーグで戦うということに無理があったわけで、当然実業団主体のリーグとプ

ロチームのリーグに分裂したわけです。

こう見るとプロリーグの方が良いようにも見えますが、実際に収益を得るのはなかなか難しく、利益の高いチームと経営基盤が脆弱なチームの格差を是正するため、bjリーグはリーグ全体で一体経営を目指すこととなります。つまり、興行収益を安定化させるためリーグを一つの会社のような運営にしようとするわけですが、相撲やプロレスと同じようなシステムなので、同じ会社の人同士で戦うという構図になり、競争原理が低下し全体の競技力向上という意味では疑問が出てきます。

そこで、サッカー界から川淵元会長が招聘され、新しいリーグを作ることになりました。このリーグはいくつかの理念がありますが、最も柱となるのはそれぞれのチームが独立法人であるということと、5000人収容のホームアリーナを持つということ。これが、川淵氏が示した具体的なプロリーグの形です。つまり、単純な話ですがバスケットボールそのものでお客さんを呼び、強くなることで人気を盛り上げていこうということです。

海外の試合などを転戦して色々な国のスポーツに接してきましたが、日本に欠落している最も大きなものが、十分な観客席を持つスポーツ施設の不足であると感じています。欧米のグラウンドには必ずと言っていいほどスタンドがあり、家族や近所の人々が常に声援を送っています。こういう姿が、スポーツを観て楽しむ文化の根底にあると感じています。是非、プロバスケットボールもサッカーJリーグに続いて日本のスポーツ文化発展のために寄与してもらいたいと思っています。

独立行政法人日本スポーツ振興センター

マルチサポート事業部 小泉圭介



編集後記

7月号です。7月は正確には「しちがつ」と読みますが、東海地方の出身である私には「ひちがつ」という読み方にも馴染みがあります。小さい頃、1から10まで数える時には「…ろく、ひち、はち…」と言っていたと思いますが、気づかないうちに「ひち」とは言わなくなっていましたし、聞く機会もなくなっていました。そのためか、「ひち」が方言だと知ったのは最近のことです。一説によると、「ひち」という発音は「しち」の「し」の発音を相手が聞きやすい柔らかい音にしようとしたことから始まったという話があるそうです。言葉を使ったコミュニケーションは正しい言葉遣いもちろん大切ですが、相手への思いやりが含まれていることが大切だと感じます。患者様にとって分かりやすい言葉を選んで説明したり、学生にとって理解しやすい平易な表現を使って複雑な症状を伝えたりすることは、理学療法士として必要なスキルだと思います。大学から関東に来た時には、うっかり出てしまう方言を恥ずかしく感じていましたが、その言葉には相手への思いやりが含まれていることを知ると、少し胸を張ることができる気がします。(渡邊)

次号の原稿締め切りは**9月6日**です。
国際医療福祉大学小田原保健医療学部(ニュース編集部宛)

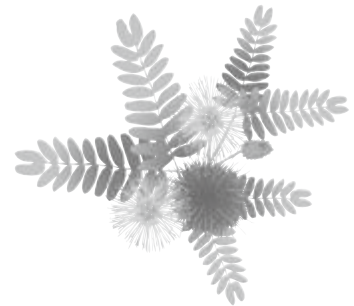
news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：坪内 敬典 (茅ヶ崎リハビリテーション専門学校)
部 長：渡邊観世子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
部 員：今井 祐子 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
大村 優慈 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)
金子 達也 (国際医療福祉大学 小田原保健医療学部)



Gift

オリジナルカーシート
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730



そのほか当社では
福祉用具レンタル・販売
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS

<http://nwc-kurumaisu.com/>